

お 知 ら せ

令和 7 年 8 月 12 日	
課名	環境企画課
担当	坪井・坂口
内線	3 0 2 4 ・ 3 0 2 5
電話	2 2 6 － 7 2 9 9

令和 6 年度の人形峠周辺の環境放射線等測定結果を取りまとめました

県では、人形峠環境技術センターの周辺の環境保全のため、昭和54年度に日本原子力研究開発機構と鏡野町と県との間で環境保全協定を締結し、以降、環境放射線等の監視測定を実施しており、このたび令和 6 年度の測定結果について、次のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

1 人形峠環境技術センター周辺に係る監視測定

(1) 連続測定（人形峠観測局・赤和瀬観測局・天王観測局）

項 目	管理目標値	測定結果	備 考
空間ガンマ線線量率 ($\mu\text{Gy/h}$)	0.087	平均値 0.051 最大値 0.103	平常の変動範囲 0.015～0.135 法令値 0.143
大気中ふっ素濃度 (10^{-4}mg/m^3)	3.3	平均値 不検出 最大値 不検出	

(2) サンプルング測定（鏡野町内及び吉井川流域）

	項 目	管理目標値	測定結果	備 考
ウラン (U-238)	大気浮遊塵 (10^{-9}Bq/cm^3)	1.4	平均値 不検出 最大値 不検出	法令値 20
	河川水 (10^{-3}Bq/cm^3)	1.1	平均値 <0.003 最大値 0.009	法令値 20
	河底土 (Bq/g 乾)	1.8	平均値 0.015 最大値 0.029	
	畑土、水田土 (Bq/g 乾)	1.8	平均値 0.038 最大値 0.066	
ラジウム (Ra-226)	大気浮遊塵 (10^{-10}Bq/cm^3)	7.4	平均値 不検出 最大値 不検出	法令値 400
	河川水 (10^{-5}Bq/cm^3)	3.7	平均値 <0.7 最大値 <0.7	法令値 200
	河底土 (Bq/g 乾)	1.8	平均値 0.049 最大値 0.084	
	畑土、水田土 (Bq/g 乾)	0.74	平均値 0.049 最大値 0.075	

注) Gy (グレイ)：物体が吸収した放射線のエネルギー量を表す。

Bq (ベクレル)：放射能の強さの単位で、放射性物質の含有量を表す。

2 中津河捨石堆積場周辺に係る監視測定（鏡野町内）

項 目		管理目標値	測定結果	備 考
空間ガンマ線線量率 ($\mu\text{Gy/h}$)		0.087	平均値 0.076 最大値 0.096	平常の変動範囲 0.042～0.095 法令値 0.143
ウラン (U-238)	河川水 (10^{-3}Bq/cm^3)	1.1	平均値 不検出 最大値 不検出	法令値 20
	河底土 (Bq/g乾)	1.8	平均値 0.012 最大値 0.014	
ラジウム (Ra-226)	河川水 (10^{-5}Bq/cm^3)	3.7	平均値 不検出 最大値 不検出	法令値 200
	河底土 (Bq/g乾)	1.8	平均値 0.034 最大値 0.037	

3 評 価

これらの測定結果については、専門家で構成する「岡山県環境放射線等測定技術委員会」（令和7年2月19日及び7月25日開催）において詳細に検討され、「異常は認められない」との評価を受けた。

【参 考】

○平常の変動範囲

放射線は、通常、自然界に存在するものであり、大地から放出されたり、宇宙から降り注いだりしている。特に空間ガンマ線線量率に係る自然放射線量は、降雨によって高くなったり、積雪によって低くなったりと、気候によって変動する。

こうした環境中の自然放射線量を考慮するため、空間ガンマ線線量率について、異常が認められなかった過去10年間の値を平常の変動範囲として設定し、測定結果の評価の参考としている。

○管理目標値

県、鏡野町（旧上齋原村）、日本原子力研究開発機構（当時の動力炉・核燃料開発事業団）との間で締結している環境保全協定に従い、ウラン開発等の事業活動に起因する放射線等に対して管理目標値を設け、法律の規制以上の管理を求めている。

なお、管理目標値は、自然放射線を含まない数値であるが、測定結果は、自然放射線も含めての値である。

○法令値

核原料物質又は核燃料物質の製練の事業に関する規則等の規定に基づく線量限度等を定める告示（平成27年原子力規制委員会告示第8号）において、周辺監視区域（管理区域の周辺の区域）外の濃度限度等として定められている。（自然放射線量を含まない。）

4 その他

- (1) 本件は、県政記者クラブ及び津山記者会に発表します。
- (2) 測定結果の概要は別添のとおりであり、県環境企画課ホームページに掲載しています。